

統合開発環境CS+ V3.01.00への リビジョンアップのお知らせ

統合開発環境CS+をV3.00.00からV3.01.00へリビジョンアップします。

1. アップデート対象バージョン

CubeSuite+ 共通部分 V1.00.00～V1.03.00 および V2.00.00～V2.02.00 CS+ 共通部分 V3.00.00

バージョンの確認方法は、以下のURLをご参照ください。(4月20日から公開予定)

https://www.renesas.com/cs+_ver

2. リビジョンアップ内容

2.1 CS+共通部分(ビルド、デバッグ および 解析機能等の共通部分)

- CS+ for CC (RX, RH850, RL78用)の共通部分をV3.00.00からV3.01.00へ更新しました。
- CS+ for CA,CX(78K, RL78, V850用)の共通部分をV3.00.00からV3.00.01へ更新しました。

CS+ for CC V3.01.00およびCS+ for CA,CX V3.00.01では、以下のような更新を行っています。

(1) CS+ for CC (RX, RH850, RL78用)

(a) 全体の機能改善

- ルネサス最新コンパイラ最適化技術を搭載したRL78ファミリ用コンパイラCC-RLのサポートを追加しました。
CC-RLの詳細は以下のURLをご参照ください。(4月16日から公開)
https://www.renesas.com/rl78_c
- CC-RLのサポート追加に伴い、Windowsスタートメニューの変更をしました。
- プロジェクト作成時の生成ファイルを変更し、コアごとのブート・ローダ用スタートアップファイルやアプリケーション用スタートアップ

プファイルの処理の記述を改善しました(RH850ファミリのみ)。

- プロパティ「マイクロコントローラ情報」タブのリセットベクタ情報を追加し、コアごとにリセットベクタが違うマイコンに対応しました(RH850ファミリのみ)。
- 外部ツールの起動オプションにマイコン名を指定するプレースホルダを追加し外部ツールにマイコン名を引き渡せるように改善しました。
- エディタのジャンプ機能において、ジャンプ先の指定に変数定義を追加し、変数を定義している行の参照が簡単にできるように改善しました。

(b) Pythonコンソールの機能改善

- Python関数、Pythonクラス、Pythonプロパティ、フック関数 およびコールバック関数の引数を追加し、RH850シミュレータの割り込み制御を可能にしました。
- Pythonクラス および Pythonプロパティを追加し、ダウンロードファイルファイル制御を可能にしました。

(2) CS+ for CC (RX, RH850, RL78用) および

CS+ for CA, CX (78K, RL78, V850用)

(a) デバッグ・ツールの機能改善 (対象: RL78ファミリ)

- 以下のマイコンについてIECUBEが使用可能になりました。

RL78ファミリ RL78/D1Aグループ:

R5F10DPL, R5F10DPK, R5F10DSL, R5F10DSK, R5F10DSJ

2.2 ビルドツール

RL78ファミリ用に性能を大幅に向上した新しいコンパイラCC-RL V1.01.00を追加しました。

ビルドツールCC-RLは、standard版 と professional版を準備しています。

professional版ではMISRA-C:2004のルールチェック機能をサポートしています。

主な特長は以下のとおりです。

- ルネサス最新コンパイラ最適化技術の搭載による出力コードの実行速度向上 および ROMサイズの削減を実現 (既存コンパイラCA78K0Rと比較)
- 64ビット変数 (double(RL78-S3コアのみ対応)、long long) をサポート
- 関数のインライン展開機能の搭載
- セクションアドレス取得機能 (__sectop、__secend演算子) の搭載
- ワーニングメッセージの出力制御機能の搭載
- 文字列定数のマージ機能の搭載
- オプション指定によるインクルードファイル指定機能の搭載
- 外部変数をvolatile化する機能の搭載
- MISRA-C:2004のルールチェック機能の搭載 (professional版のみ)
- 既存コンパイラからの移行支援機能の搭載

注意: RL78ファミリ用Cコンパイラパッケージ(統合開発環境つき) V1 (CC-RL)は

無償評価版をご用意しています。ただし、従来のRL78、78Kファミリ用Cコンパイラパッケージ(CA78K0R、CA78K0)のライセンスでは、CC-RL無償評価版の制限は解除できません。CC-RL無償評価版の制限を解除してご使用する場合には、RL78ファミリ用Cコンパイラパッケージ(統合開発環境つき) V1 (CC-RL)の製品版を新たにご購入ください。ご購入方法の詳細は、「5. 購入方法」をご参照ください。

CC-RLの詳細は、以下のURLをご参照ください。(4月16日から公開)

https://www.renesas.com/rl78_c

2.3 コード生成

(1)CS+ RL78コード生成

V2.07.00をCS+ for CCに追加しました。

V2.07.00では、RL78ファミリ用コンパイラCC-RLに対応しました。

(2)CS+ RL78コード生成 (CS+ for CA, CX)

V2.06.00からV2.07.00へ更新しました。

V2.07.00では、以下の更新を行っています。

(a) RENESAS TOOL NEWS 資料番号 140701/tn1の注意事項の改修

- Port2 設定時の注意事項
- インターバルタイマ設定時の注意事項

問題の詳細は、以下のURLをご参照ください。

<https://www.renesas.com/search/keyword-search.html#genre=document&q=140701tn1>

(b) RENESAS TOOL NEWS 資料番号 140816/tn1の注意事項の改修

- Port2のP20およびP21設定時の注意事項
- ポート1設定時の注意事項

問題の詳細は、以下のURLをご参照ください。

<https://www.renesas.com/search/keyword-search.html#genre=document&q=140816tn1>

(c) RENESAS TOOL NEWS 資料番号 141101/tn2の注意事項の改修

- CPUスタック・ポインタ・モニタ機能設定時の注意事項
- 3線シリアル使用時のSIRレジスタ書き込みの注意事項

問題の詳細は、以下のURLをご参照ください。

<https://www.renesas.com/search/keyword-search.html#genre=document&q=141101tn2>

(d) RENESAS TOOL NEWS 資料番号 141216/tn3の注意事項の改修

- コンパレータ設定時の生成コードの注意事項
- DTC設定時の注意事項
- 電圧検出回路で「割り込みモード」設定時の注意事項
- A/Dコンバータの設定を行ってプロジェクト保存するときの注意事項
- コード生成で端子配置へ反映させた時の注意事項

問題の詳細は、以下のURLをご参照ください。

<https://www.renesas.com/search/keyword-search.html#genre=document&q=141216tn3>

(3)CS+ RXコード生成

V1.05.00からV1.06.00へ更新しました。

V1.06.00では、以下の更新を行っています。

(a) RENESAS TOOL NEWS 資料番号 140816/tn2の注意事項の改修

- マルチファンクションタイマパルスユニット (MTU) および
16ビットタイマパルスユニット (TPU) 設定時の注意事項
- 問題の詳細は下記URLをご参照ください。

<https://www.renesas.com/search/keyword-search.html#genre=document&q=140816tn2>

(b) RENESAS TOOL NEWS 資料番号 141216/tn2の注意事項の改修

- クロック設定の出力コードの注意事項
- バス設定の注意事項

問題の詳細は、以下のURLをご参照ください。

<https://www.renesas.com/search/keyword-search.html#genre=document&q=141216tn2>

2.4 デバイス依存情報

(1)CS+ RL78デバイス依存情報

V3.00.01からV3.00.02に更新しました。

V3.00.02では、以下の更新を行っています。

(a) サポートマイコンの削除

以下のグループにおいてサポートマイコンを削除しました。

- RL78ファミリ RL78/G14グループ:
R5F104JK, R5F104JL

詳細内容は以下のURLで確認してください。(4月20日公開予定)

http://tool-support.renesas.com/autoupdate/support/jpn/cs_plus/DeviceInformation_RL78_List.html

(2)CS+ RXデバイス依存情報

V1.06.00からV1.07.00へ更新しました。

RX71MでTrusted Memory機能のデバッグをサポートしました。

なお、以前のバージョンのCS+ V3.00.00ではTrusted Memory機能を有効にしてもダウンロード時にTrusted Memory領域が消去される場合があります。

詳細内容は以下のURLで確認してください。(4月20日公開予定)

http://tool-support.renesas.com/autoupdate/support/jpn/cs_plus/DeviceInformation_RX_List.html

(3)CS+ RH850デバイス依存情報

V3.00.01からV3.00.02へ更新しました。

V3.00.02では、以下の更新を行っています

(a) サポートマイコンの追加

以下のグループにおいてサポートマイコンを追加しました。

- RH850ファミリ RH850/C1Hグループ
- RH850ファミリ RH850/C1Mグループ
- RH850ファミリ RH850/P1Mグループ

(b) デバイス情報の修正

以下のグループに関連するデバイス情報を修正しました。

- RH850ファミリ RH850/C1Hグループ
- RH850ファミリ RH850/C1Mグループ
- RH850ファミリ RH850/E1Lグループ
- RH850ファミリ RH850/E1M-Sグループ
- RH850ファミリ RH850/F1Lグループ

詳細は、以下のURLで参照ください。(4月20日更新予定)

http://tool-support.renesas.com/autoupdate/support/jpn/cs_plus/DeviceInformation_RH850_List.html

2.5 CS+ ユーティリティ

V3.00.00からV3.01.00へ更新しました。

詳細は、以下のURLで参照ください。(4月20日更新予定)

http://tool-support.renesas.com/autoupdate/support/jpn/cs_plus/Utilities_List.html

3. アップデート方法

無償でオンラインアップデートできます。アップデート方法はお持ちのCS+によって異なります。

注意: CS+ V3.01.00へのアップデートを行った場合、ビルドツールCC-RLが無償評価版として追加されます。ただし、従来のRL78、78Kファミリ用Cコンパイラパッケージ (CA78K0R、CA78K0) のライセンスでは、CC-RL無償評価版の制限は解除できません。CC-RL無償評価版の制限を解除してご使用する場合には RL78ファミリ用Cコンパイラパッケージ (統合開発環境つき) V1 (CC-RL) の製品版を新たにご購入ください。
ご購入方法の詳細は、「5. 購入方法」をご参照ください。

3.1 CS+ V3.00.00以降を使用している場合

以下のいずれかの方法でアップデートしてください。

- (1) スタートメニューから プログラム -> Renesas Electronics CS+ を選択し、アップデートマネージャを起動してアップデートする。
(4月20日からサービス開始予定)

注意: ラピッドスタートを有効にしてCS+を起動している場合は、CS+を一旦終了した後にアップデートマネージャを起動してください。

ラピッドスタートによりCS+がWindows上の通知領域(タスクトレイ)内に常駐している場合は、エラーが発生し、以下のメッセージが表示されます。

M0120001

"CS+W.exe"

が起動中のため、インストールは中断されました。

次回ツール起動時に再開されます。

(2) 以下のURLから必要なソフトウェアツールをダウンロードして
インストールする。(4月20日から公開予定)

https://www.renesas.com/cs+_download

3.2 CubeSuite+ V2.00.00～V2.02.00を使用している場合

3.1と同じ方法でアップデートしてください。

3.3 CubeSuite+ V1.03.00以前を使用している場合

以下のURLから無償評価版CS+ V3.00.00 をダウンロードして
アップデートしてください。(4月20日から公開予定)

https://www.renesas.com/cs+_download

4. 評価版の入手方法

製品版CS+を購入する前に、無償評価版で製品の機能や性能を評価できます。

以下のURLから無償評価版CS+をダウンロードしてください。

(4月20日からインストーラ公開予定)

https://www.renesas.com/cs+_download

なお、無償評価版のインストール時に、CubeSuite、CubeSuite+のライセンス
または別売りのCS+のライセンスを入力することで製品版として使用することが
できます。

注意: 従来のRL78、78Kファミリ用Cコンパイラパッケージ V1 (CA78K0R、CA78K0)
のライセンスではRL78ファミリ用Cコンパイラパッケージ V1 (CC-RL) の無
償評価版の制限は解除できません。

RL78ファミリ用Cコンパイラパッケージ V1 (CC-RL) の無償評価版の制限を
解除してご使用する場合には、RL78ファミリ用Cコンパイラパッケージ V1
(CC-RL) の製品版を新たにご購入ください。

5. 購入方法

ご注文の際には、以下の情報を最寄りの弊社営業または特約店まで
ご連絡ください。

製品名:RL78ファミリ用Cコンパイラパッケージ (統合開発環境つき) V1

発注型名:RTCRL7800CS01WDR standard版 媒体ありの場合

RTCRL7800CS01WNR standard版 媒体なし、ライセンスのみの場合

RTCRL7800CL01WDR professional版 媒体ありの場合

RTCRL7800CL01WNR professional版 媒体なし、ライセンスのみの場合

製品名:RL78、78Kファミリ用Cコンパイラパッケージ (統合開発環境つき) V1

発注型名:R0C07800QSW01D 媒体ありの場合

R0C07800QSW01N 媒体なし、ライセンスのみの場合

製品名:RXファミリ用C/C++コンパイラパッケージ (統合開発環境つき) V2

発注型名:RTCRX0000CL02WDR 媒体ありの場合

RTCRX0000CL02WNR 媒体なし、ライセンスのみの場合

製品名:V850ファミリ用Cコンパイラパッケージ (統合開発環境つき) V1

発注型名:R0C08500QSW01D 媒体ありの場合

R0C08500QSW01N 媒体なし、ライセンスのみの場合

製品名:RH850ファミリ用Cコンパイラパッケージ (統合開発環境つき) V1

発注型名:RTCRH8500CL01WDR 媒体ありの場合

RTCRH8500CL01WNR 媒体なし、ライセンスのみの場合

価格については最寄りの弊社営業または特約店にお問い合わせください

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。